

28年度当初予算の総額は1,026億8,644万円

28年度の予算が決まりました。予算とは1年間に入ってくるお金（歳入）と使うお金（歳出）の見積りのことです。ここでは、その概要をお知らせします。一般会計主要事業の個別の予算額は3～4ページに掲載しています。※金額の単位をそろえるため、原則1万円未満を四捨五入しました。そのため、公表した他の資料と異なる場合があります

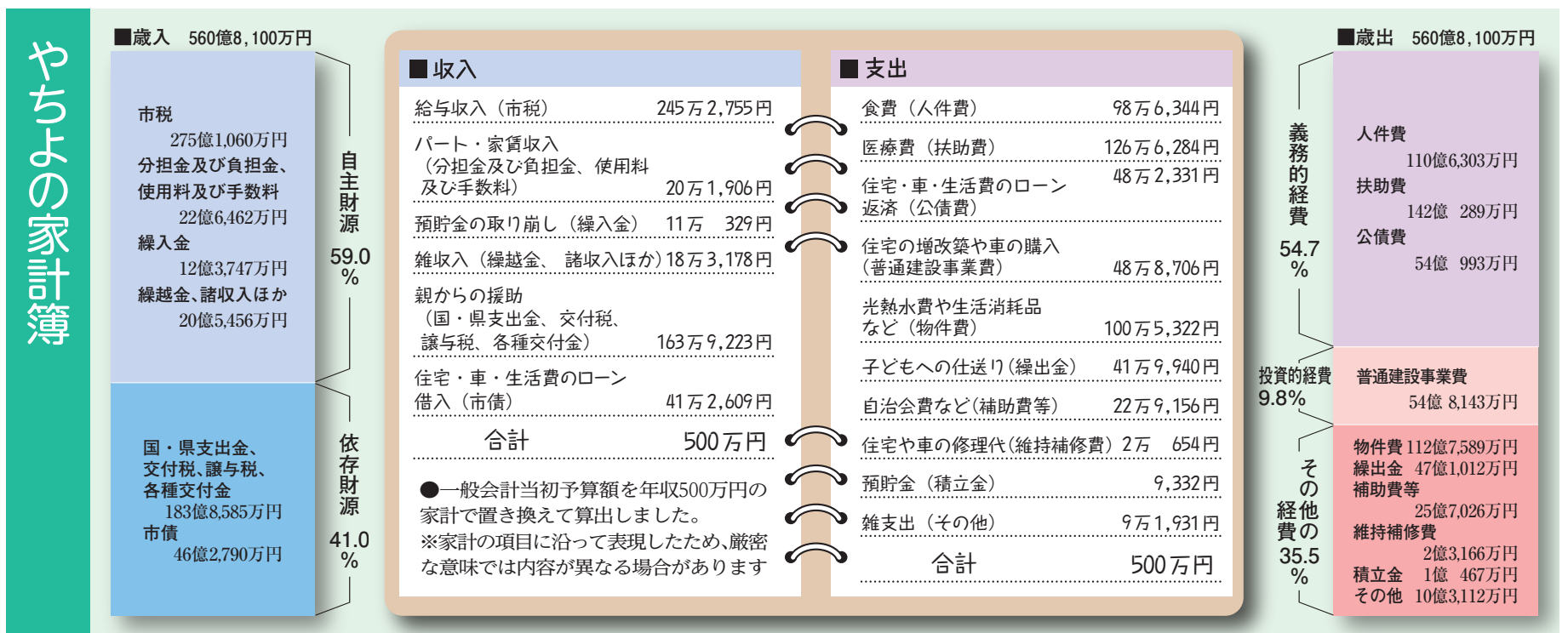
28年度の予算規模

市の予算は、①一般会計 ②特別会計 ③公営企業会計の3つに分かれています。簡単にいえば「会計」とは財布に当たるもの。財布を分けて管理することで、お金の出し入れを分かりやすくしています。一般会計では、福祉や教育など市の基本的な経費を扱います。特別会計では国民健康保険料や介護保険料など、特定の収入がある事業で一般会計と分け

ることで収支をはっきりさせる必要があるものを扱っています。公営企業会計は独立採算制をとっている公営企業の会計のことで、本市では水道事業、公共下水道事業が該当します。いずれも経営に必要な費用は水道料金や下水道使用料などの事業収益で賄われています。それぞれの会計の予算規模は次の表のとおりです。予算総額は、27年度に比べて19億5,943万円減り、1,026億8,644万円となりました。

■市の予算

区分	予算額	対前年度比較
① 一般会計	560億8,100万円	0.0%増
② 特別会計	国民健康保険事業	223億9,496万円 4.5%減
	介護保険事業	107億1,041万円 2.1%増
	墓地事業	5,241万円 85.1%減
	後期高齢者医療	20億622万円 7.9%増
	小計	351億6,400万円 2.8%減
③ 公営企業会計	水道事業	66億3,043万円 7.7%減
	公共下水道事業	48億1,101万円 8.0%減
	小計	114億4,144万円 7.9%減
合計	1,026億8,644万円	1.9%減



■市民一人当たりの一般会計歳出予算額は28万7,340円（前年度は28万8,874円）

一人当たりの一般会計歳出予算額を分野別に表しました。※予算額を人口19万5,173人（27年12月末時点）で割って算出

民生費 高齢者・障害者・児童の福祉など …11万6,048円	教育費 学校の管理運営や整備、文化・スポーツ振興など…3万4,044円	土木費 道路、橋、公園の整備など…1万3,493円
衛生費 医療、保健、ごみ処理、環境保全など…4万6,813円	公債費 長期借入金の返済など…2万7,719円	消防費 消防活動や施設の維持・管理、救急活動など…1万148円
総務費 市の運営や市民活動、防犯・防災など…3万1,873円	その他 議会や農業・商工振興など…7,202円	

■一般会計基金・債務残高（28年度末見込）

※下段は一人当たりの一般会計基金・債務残高（28年度末見込）

基金残高 (うち財政調整基金)	市債残高	債務負担行為残高
29億4,133万円(16億2,150万円) 1万5,071円(8,308円)	578億7,934万円 29万6,554円	166億5,030万円 8万5,310円

？**財政調整基金** 災害や緊急時に備え、また年度間の財源不均衡の調整を行うための基金。

？**債務負担行為** 複数年度の契約など、将来にわたって支払うことを約束する行為。

問い合わせ

- 一般会計・特別会計に関すること
財政課 ☎ 483-1151（代表）
- 公営企業会計に関すること
上下水道局経営企画課 ☎ 483-6572

広告

広告